

新たな歴史に向かって

鳳エリア建替え運動の道

⑥

訪問看護のバトンを引き継ぎ
さらに未来へ

同仁会の訪問看護は、鳳病院からスタートしました。リハビリ病棟の患者さんが退院してどのように生活していくのか、それをどのように援助するのかを多職種で話し合い、二人の看護師が地域に出たのが始まりだと聞いています。その活動が制度化されたときに、いち早く指定を受け、事業

として訪問看護を始めることに繋がっています。私は2016年に耳原訪問看護ステーション鳳に着任しました。外来・訪問診療・ヘルパー・薬局・ケアプラン・デイ・老健など介護事業が揃っており、連携が取りやすいです。この間は、訪問診療部と連携し、終末期の利用者さんの支援に取

り組みました。スタッフと協力して支援し、たくさん学びをいただい

ておりました。その時の写真を部屋に飾られており、喜んでくださっ



います。また、友の会の方の支えが大きいことも印象的です。

クリニック職員と友の会と一緒に取り組むお花見会では、事前に下見に行き、移動する車中の音楽を選択するなど、なかなか外に出られない方に楽しんでもらうよう工夫していま

いることをとても嬉しく思いました。コロナ禍以降、訪問看護の役割はさらに大きくなりました。今、私たちが事業を進められているのは、いち早く地域に足を踏み出した先輩方、連携してくださる皆さん、友の会の皆さんの支えのおかげだと思っております。在宅で療養される方のお力になれるよう、バトンを引き継ぎ、さらに頑張っていきたいと思

す。利用者さんはその時の写真を部屋に飾られており、喜んでくださっ

（耳原訪問看護ステーション 管理師長 中山富有美）

表現したい思いを
みんなで語る

ホスピタルアートワークショップ



鳳クリニック
新建設に向けて



5月13日（土）に鳳クリニック新建設に向けて職員や友の会の方、地域

文化を知る外部の方たち、そして何かを表現したい思いを持つて

いる人々が集まり、3度目となる鳳ホスピタルアートワークショップが行われま



当クリニックの基本構想である「生き



がいのある暮らしを支援できるよう、病気でなくても集えるクリニック」を実現させるため、まずは「なぜ・どのように、ここにクリニックが存在するの」を掘り下げるべきだと考えて、参加者それぞれに自分自身の物語を語っていただきまし

た。伝える相手は職種や立場が違う人たちであり、語る人は伝わるように整理し、かみくだきな

がら、自分たちを象徴するものはなんなのかを表出する場となりました。アートセフションはこれまで皆さんの思いを種に、もう少し時間をかけながら、どう表現するかを考えていきたいと思

（企画運営…みみはらアートセフション 衛藤 桃子）

「みんなで描こう
タバコのない健康な街へ」

令和4年度 堺市文化芸術応援補助金事業



●目原総合病院
健康推進委員会委員長賞

亀井 明子さん

〈エッセイ〉

「両切りピースの甘い香り」

審査員のコメント

父とタバコの思い出とともに禁煙に導くことができなかつた気持ちがよく伝わってきました。

入賞作品介绍 ⑤

両切りピースの甘い香り

子どもの頃、両切りのピースの香りが好きだった、何とも言えない甘い香りを今でも覚えている。愛煙家だった父は、両切り（フィルターなし）のピースをいつも吸っていた。ピースを挟む指からも甘い香りがした。タバコはどこでも吸えた。ピースの香りのする父が好きだった。

タバコの健康被害が言われるようになり、タバコは、低ニコチン、低タールの煙たいだけのタバコに変わっていった。父も、両切りのピースを、軽いタバコに変えていった。身体を気にして何度か禁煙はしていたが、止めてしまうことにはならなかったようだ。タバコを止めた時のご飯は美味しいと言っていた。でも太ってしまって困ることも。

働き盛りの60歳の時、父は肺がんで逝ってしまった。タバコだけが原因ではないと思うが…「なんで禁煙を勧めなかったんだろう」と悔やまれてならない。死んだ父親の年齢を越した今、ピースの甘い香りと共に思い出す。

理事会報告

7月理事会（概要）

開催日時… 7月27日（木）

午後6時～

午後8時4分

出席…理事 24名

監事 3名

〈主な内容〉

◆報告

- ・拡大常任理事会、各種委員会概要
- ・健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ
- ・無料低額診療の各事業所実績
- ・2023年6月度決算概要および2023年度第一四半期決算概要
- ・新型コロナウイルス
- ・感染症の対応について
- ・みみはら2030年の樹の進捗報告
- ・役員、評議員改選にむけた手続きについて
- ◆協議確認事項
- ・堺区での施設整備について提案し承認された。